

原子力を学ぼう

原子力について正しい知識を持ち、理解を深めてもらおうと、町内4小学校の5年生児童122名を対象に、8月23日原子力発電施設見学会が行われました。

敦賀原子力発電所構内の見学や、原子力館での地震時の安全性を体験した子どもたちは、「ウランのことや原子力の仕組みがわかった」、「みんなの安全を考えながら仕事をしているんだなと思いました」と感想を話し、原子力が暮らしを支える身近なエネルギーであることを学んでいました。

原子力発電施設見学会



そば打ち名人を目指して

全日本素人そば打ち名人大会 南越前町今庄地区予選会

全国のそば打ち愛好家の頂点を決める「第11回全日本素人そば打ち名人大会南越前町今庄地区予選会」が、9月2日今庄そば道場で行われました。予選会には、南越前町をはじめ福井市、京都市など県内外から14人が出場。地元産のそば粉800グラムとつなぎ粉200グラムを使って、40分間の制限時間内でそば打ちの技術を競いました。水回しやこね、延ばし、切りの4工程と態度・衛生の5項目が審査の対象で、福井市の飛場正治さんから3人が全国大会への出場を決めました。

七難即滅、七福即生

七福神祭

凶作や疫病に襲われた村を救うために始まったとされる七福神祭が、9月18日妙泰寺で行われました。

七難を避け、七福を授かるというこの祭りは、200年以上続く伝統行事。露払いの先導で、色鮮やかな衣装をまとった七福神が登場。本堂で奉納踊りを舞った後、山上の七面堂に御神体を納めました。

「七福神はおめでたい縁起もの。福を授かるうね」と、大勢の人が訪れ、賑わっていました。



“勝つ”ってうれしい!

第25回福井県少年少女バレーボール大会

8月19、20日に福井県営体育館をメイン会場に行われた「ゲンキー杯第25回福井県少年少女バレーボール大会」で、南条バレーボールスポーツ少年団(男子)が準優勝を果たしました。この大会には男子19チームが参加。シードチームを敗って勝ち進み、準決勝は2-0で織田男子バレーボールスポーツ少年団にストレート勝ち。決勝戦は、第1シードの麻生津スポーツ少年団男子バレーボールチームと全力で戦いましたが惜敗。子どもたちは「予想以上に勝ち進めてうれしい。もっと練習して秋の大会でもがんばる」と話していました。



豊作と雨乞いを祈願

武周ヶ池で竜神祭

8月20日、牧谷の野見岳頂上の武周ヶ池で、恒例の雨乞い行事「竜神祭」が行われ、地元の人や登山愛好家ら80人が参加しました。ログハウス前で行われた入山式では、地元有志らが詩吟「武周ヶ池に立つ」を披露。参加者らは、龍神太鼓の響きに見送られ山を登り、約40分で武周ヶ池に到着。山伏が雨乞いの祈禱を行い、米、御神酒、御幣を乗せた笹舟を池に流し、今年一年の豊作を祈りました。

翌日は、恵みの雨が降り、地元民を喜ばせました。

しっとりした歌声にうっとり

河村隆一コンサート

ロックバンドグループ「LUNASEA」の元ヴォーカル河村隆一コンサートが、8月23日南条文化会館で行われ、県内外から大勢のファンが集まりました。

ステージを見入った人たちは、「近くで見られてうれしい」、「甘い歌声がいい。ずっと聞いていたい」とうっとり余韻に浸っていました。



事故のないまちはみんなの願い

交通安全キャラバン隊来町

「交通安全は家庭から」を指針に、全国でキャラバン隊活動を展開している

“みんなですすめる交通安全”全国キャラバン隊(全国交通安全母の会主催)が南越前町を訪れました。キャラバン隊は、「地域一体となった安全対策を進めてほしい」とする猪口内閣府特命担当大臣からのメッセージを読み上げ伝達。

これに対し増澤町長は、「三位一体 車・歩・指」と書いた色紙を手渡し、「運転者、歩行者、交通指導者が一体となって交通安全活動に取り組みたい」と決意を述べました。

